



「減災・九州」

令和 元年11月12日
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

令和2年度大淀川・小丸川総合水防演習の実施に向け

第1回目の運営協議会を開催します。

国土交通省では、毎年5月を「水防月間」と定め、水防の意義及び重要性について、国民の理解を深めると共に、梅雨時期からの大雨による河川の出水対応に備えているところです。

この水防月間活動の一貫として例年、全国の各地方ブロックで総合水防演習が実施されており、九州地方では、九州地方整備局と各県及び開催都市が協力し実施されています。

令和2年度の総合水防演習は、九州地方整備局と宮崎県及び宮崎市が主催し、大淀川・小丸川流域の関係機関と連携を行い、令和2年5月17日（日）、宮崎市鶴島地先の大淀川河川敷を会場として実施する予定です。

なお、大淀川では平成24年5月以来8年ぶりの開催となります。

今後、大淀川・小丸川総合水防演習実施に向けて以下の運営協議会及び運営部会を重ね具体的な内容を決定していきます。

1. 会議名：令和2年度大淀川・小丸川総合水防演習運営協議会（第1回）
2. 日時：令和 元年11月14日（木）13：30～14：30（予定）
3. 場所：宮崎河川国道事務所 1階会議室
宮崎市大工2丁目39番地
4. 予定議事：設立主旨、規約等
5. 実施概要等：別紙1、2のとおり
6. 参考：白川・緑川総合水防演習2019開催状況

なお、撮影される場合には、会議の妨げにならないようお願いいたします。
会議終了後に質問を受け付けます。

問い合わせ先

- 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
TEL：0985-24-8221（代表）
総括地域防災調整官 平原 由夫（内線206）
河川管理課 課長 高場 悦郎（内線331）

令和 2 年度大淀川・小丸川総合水防演習実施概要（案）

1. 主催

国土交通省九州地方整備局・宮崎県・宮崎市

2. 開催日時

令和 2 年 5 月 1 7 日（日） 午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0（予定）

3. 場所

宮崎県宮崎市鶴島地先（大淀川 4 k 6 0 0 付近宮崎市役所前河川敷）

4. 参加水防管理団体（流域市町）

宮崎市、都城市、小林市、日向市、国富町、綾町、高鍋町、木城町、三股町、美郷町、高原町

5. 参加団体（予定）

陸上自衛隊第 43 普通科連隊、宮崎県警察本部、宮崎県防災救急航空隊、宮崎市消防局、都城市消防局、宮崎県東児湯消防組合消防本部、(公社)宮崎市郡医師会、宮崎市社会福祉協議会、日本赤十字社宮崎県支部、宮崎市赤十字奉仕団、大淀川・小丸川水防協力会、九州防災エキスパート会、宮崎県産業開発青年隊、NPO 法人大淀川流域ネットワーク、国土交通省気象庁宮崎地方気象台

※自治会・小学校・幼稚園・大学等は、今後、調整を行い参加団体となつて
いただく予定です。

※今後変わる場合があります。

別紙 2

「令和 2 年度大淀川・小丸川総合水防演習運営協議会」参加機関一覧表

宮崎市（水防管理団体）、都城市（水防管理団体）、小林市（水防管理団体）、
日向市（水防管理団体）、国富町（水防管理団体）、綾町（水防管理団体）、
高鍋町（水防管理団体）、木城町（水防管理団体）、三股町（水防管理団体）、
美郷町（水防管理団体）、高原町（水防管理団体）

宮崎市消防局、都城市消防局、宮崎県東児湯消防組合消防本部

陸上自衛隊第 43 普通科連隊、宮崎県警察本部

宮崎県 県土整備部、総務部危機管理局 宮崎土木事務所

国土交通省気象庁宮崎地方气象台

国土交通省九州地方整備局

国土交通省宮崎河川国道事務所

※今後変わる場合があります。

開会式



■総括指揮官
西岡 和男
熊本市 政策局 危機管理防災総室
首席審議員

総員報告



■演習本部長
宮部 静夫
熊本県 土木部長

開会宣言



■演習副本部長
柳田 誠二
九州地方整備局 統括防災官



本部役員整列状況

挨拶



■名誉総裁
大塚 高司
国土交通副大臣



■統裁
蒲島 郁夫
熊本県知事



■開催市災害対策本部長
大西 一史
熊本市長



■全国水防管理団体連合会
脇 雅史 会長



■来賓
衆議院議員
木原 稔 様



演奏：五福風流街ウィンズ
城西シンフォニックバンド

閉会式



講評



■総裁
伊勢田 敏
九州地方整備局長

水防団体感謝状贈呈



熊本県知事より各水防団体に
感謝状が贈呈された。

ペナント引渡式



熊本県土木部長から宮崎県県土整備部長へ、
水防ペナントの引き渡しが行われた。

閉会宣言



■演習本部長
宮部 静夫
熊本県土木部長



大型で非常に強い台風が熊本に接近

気象解説

台風の接近により九州北部に停滞している梅雨前線が刺激され、熊本地域に猛烈な雨が降る恐れ。白川流域では著しい増水により、氾濫危険水位を越え、低地の浸水、氾濫、土砂災害等の危険性が高まる。



大規模災害発生の恐れがあるため 事前防災行動を開始

タイムライン発動



大西 一史
熊本市長



●熊本市広報車

台風の接近により大規模な災害発生の恐れが出てきたため、熊本市長はタイムラインを発動。熊本市の広報車が市民への周知を行った。

●本部長指令第1号 [土のうづくり]



完了報告(土のうづくり): 嘉島町消防団

大雨・洪水警報



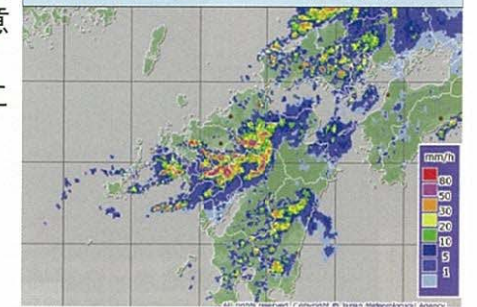
気象情報



熊本地方気象台

熊本地方気象台より大雨・洪水注意報を発表。30分後に警報に切りかえられた。

気象レーダー(訓練用)
5月18日 09時20分



氾濫注意水位に到達



洪水予報



熊本河川国道事務所 調査課長



国土交通省河川パトロールカー

熊本河川国道事務所より洪水予報第1号「氾濫注意情報」が発表され、河川パトロールカーが出動。

氾濫注意水位を越え、さらに上昇



ホットライン



熊本河川国道事務所長



避難判断水位(レベル3)超過の見込みを熊本市長に直接連絡。



熊本市長

【警戒レベル3】
避難準備・高齢者等避難開始
発令

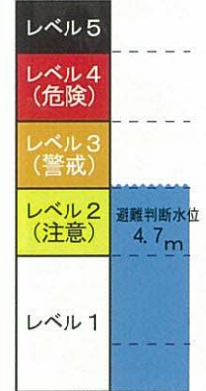
避難判断水位を超過する恐れが出てきたため、熊本市長は避難準備・高齢者等避難開始を発令。



●避難準備・高齢者等避難開始
向山校区で避難訓練を実施。江南中学校に避難所が開設された。

堤防に漏水・洗堀が発生

水位危険度レベル



情報伝達



●漏水・洗堀箇所発見
熊本河川国道事務所 白川下流出張所

白川右岸に漏水及び洗堀箇所を発見。直ちに位置・状況等の情報が伝えられた。

本部長指令



熊本県 河川課長

●本部長指令第2号 [漏水対策工・洗堀対策工]



熊本市消防団①: 月の輪工



熊本市消防団②: 月の輪工



菊陽町消防団: 月の輪工



熊本市消防団③: 釜段工



熊本市消防団④: 釜段工



大津町消防団: 釜段工



陸上自衛隊第42即応機動連隊: 釜段工



熊本市消防団⑤: 木流し工



熊本市消防団⑥: 木流し工



御船町消防団: 木流し工



甲佐町消防団: 木流し工



美里町消防団: 木流し工



熊本市消防団⑦: シート張り工



本市消防団⑧: シート張り工



宇土市消防団: シート張り工



嘉島町消防団: シート張り工



完了報告 (月の輪工)
: 菊陽町消防団



完了報告 (釜段工)
: 大津町消防団



完了報告 (木流し工)
: 御船町消防団



完了報告 (シート張り工)
: 宇土市消防団

氾濫危険水位に到達

水位危険度レベル



緊急速報エリアメール

緊急速報
【訓練】河川氾濫のおそれ
本メールは訓練です
警戒レベル4相当
こちらは国土交通省九州地方整備局です
内容: 白川の代継橋(熊本市)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険水位に到達しました
行動要請: 防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください

氾濫危険水位に達し、河川氾濫の恐れが高まる。緊急速報エリアメールを活用した洪水情報のプッシュ型配信の実働訓練を実施。



●避難勧告発令
熊本市広報車

●避難訓練



向山幼稚園、五福風流街ウィングス、城西シンフォニックバンド、熊本看護専門学校、熊本南警察署、熊本市消防局、熊本市消防団



●避難所・ボランティアセンター開設・運営訓練

熊本市社会福祉協議会、熊本看護専門学校、熊本大学、熊本県立大学、熊本保健科学大学



●炊き出し訓練

熊本市赤十字奉仕団、熊本看護専門学校、熊本大学、熊本県立大学、熊本保健科学大学、小島まちづくり委員会

白川の水位は堤防天端に迫り、越水のおそれが

水位危険度レベル

レベル5
レベル4 (危険)
レベル3 (警戒)
レベル2 (注意)
レベル1

●本部長指令第3号 [越水対策工法]



●積み土のう



●改良積み土のう



●ラバーマット工



完了報告(積み土のう)
: 甲佐町消防団

完了報告(積み土のう)
: 美里町消防団

完了報告(改良積み土のう)
: 熊本市消防団

●役員巡視

災害発生危険性が高まる

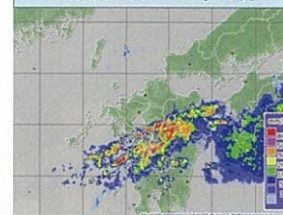
●災害対策現地本部設置



情報収集車・待機支援車

大雨特別警報

気象レーダー(訓練用)
5月19日 08時30分



大雨特別警報が発表され、重大な災害の危険性が高まる。

堤防が決壊、氾濫発生

水位危険度レベル

レベル5
レベル4 (危険)
レベル3 (警戒)
レベル2 (注意)
レベル1



九州地方整備局 災害対策本部



熊本河川国道事務所長

熊本県知事

熊本市長

●映像共有遠隔防災会議

白川の堤防決壊の情報を受け、国土交通省九州地方整備局、災害対策現地本部、熊本県知事、熊本市長の4者がテレビ会議により映像共有遠隔防災会議を実施。熊本県知事より九州地方整備局長に対し、排水ポンプ車とテックフォースの派遣要請が行われた。また、熊本市長より熊本県知事に対し、自衛隊の派遣要請も併せて行われた。



●偵察・孤立者救助



陸上自衛隊第42即応機動連隊



●浸水対応
テックフォース

孤立者・水難者救助

●孤立者救助訓練



菊池広域連合消防本部、上益城消防組合消防本部



熊本市消防局

●水難者救出訓練



宇城広域連合消防本部



現場指揮所

●医療救護訓練



熊本市医師会、
日本赤十字社
熊本県支部



●海域における流木等回収訓練
海洋環境整備船「海煌」



●決壊箇所応急復旧
(一社)熊本市建設業協会、
テックフォース、
九州防災エキスパート会

氾濫注意水位を下回り、災害は終息へ

水位危険度レベル

レベル5	
レベル4 (危険)	
レベル3 (警戒)	
レベル2 (注意)	氾濫注意水位 3.7m
レベル1	

大雨・洪水注意報解除



熊本地方気象台

白川の水位は、氾濫注意水位を下回り、水位危険度レベルは1に。
大雨・洪水注意報も解除となり、集中豪雨により重大な危機に面していた流域は、いつもの穏やかさを取り戻す。

参考



会場案内図

出展団体：

国土交通省九州地方整備局（水災害予報センター、防災室、港湾空港部、立野ダム工事事務所、緑川ダム管理所）、熊本県、陸上自衛隊第42即応機動連隊、熊本県警察本部、熊本市消防局、熊本市社会福祉協議会、熊本看護専門学校、熊本大学、熊本地方気象台、国土地理院九州地方測量部、(独)水資源機構筑後川局、(一財)河川情報センター、NPO法人日本防災士会、NPO法人白川流域リバーネットワーク、(一社)リバーテクノ研究会

体験コーナー・車両展示



■車両展示コーナー
陸上自衛隊第42即応機動連隊



■浸水ドア体験
国土交通省（九州地方整備局）



■バーチャルリアリティ体験
立野ダム工事事務所



■降雨体験コーナー
国土交通省九州地方整備局

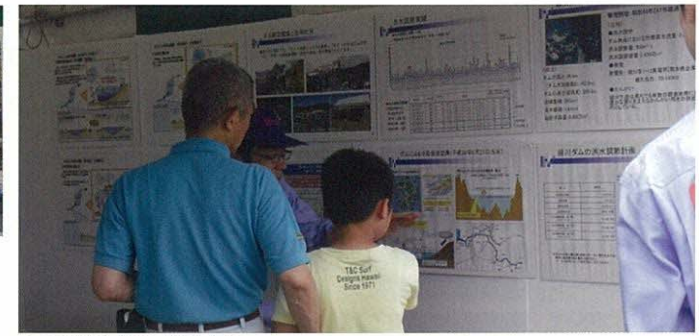


■ロボQ-S操縦体験
国土交通省九州地方整備局

パネル等展示



■国土交通省九州地方整備局



■緑川ダム管理所



■熊本県



■国土地理院九州地方測量部



■熊本地方気象台



■(一財)河川情報センター



■(一社)リバーテクノ研究会



■熊本大学



■NPO法人日本防災士会



■NPO法人白川流域リバーネットワーク